

第三回「広尾中学校建て替え準備委員会」を実施しました

第三回委員会では、他学校の参考事例をもとに新しい学校の学習空間のイメージを共有し、新校舎の配置の考え方を提示しました。また、新校舎の中に必要な諸室と機能ゾーニングの検討状況を報告し意見交換を行いました。

第三回委員会実施日時等

実施日時：令和5年5月12日（金） 15時30分～17時

会場：広尾中学校 ランチルーム

発行年月日：令和5年6月13日

発行者：渋谷区教育委員会事務局

住所：〒150-8010 渋谷区宇田川町1番1号 区役所4階

問い合わせ先：電話：03-3463-2795 Mail：sec-gakko-seibi@shibuya.tokyo

第三回委員会 議題

- ① 「新しい学校」のイメージ紹介 〈私立学校の事例〉
- ② 法的規制について
- ③ 学校施設の配置に関する検討（案）について
- ④ 学校施設の機能ゾーニング（案）について / ⑤ 諸室比較表について

① 「新しい学校」のイメージ紹介 〈私立学校の事例〉

"新しい学校"の学習空間のイメージを共有するために、教室の間仕切りの作り方や、教室とラーニング・commonsを一体化して学びの場として活用するなどの工夫が見られる、私立学校の事例を紹介しました。

※ラーニング・commonsとは、子供達がタブレットや本で情報収集しながら主体的に学べる共有空間です。一人で集中する学び、グループで協働する学びなど多様な学習スタイルに対応しています。

② 法的規制について

敷地東側の道路から30mの範囲で、敷地内の法規制（用途地域と高度地区）が分かれていることを説明しました。

③ 学校施設の配置に関する検討（案）について

学校施設の配置は、第二回委員会で頂いたご意見をもとに、生徒が落ち着いて学習できる環境を目指し、比較的ににぎやかな環境である敷地東側にグラウンドを配置し、西側に校舎を配置する考えを説明しました。

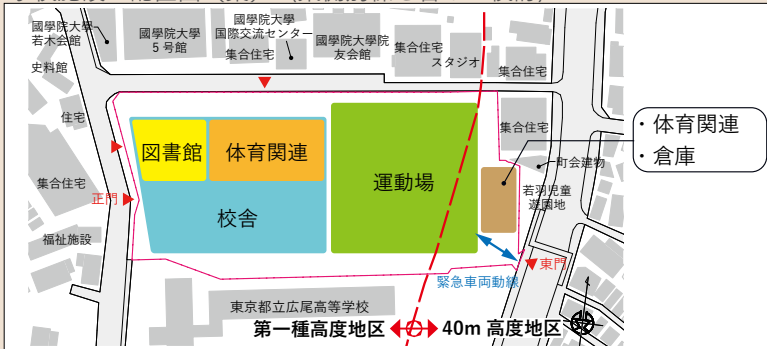
また、校舎の学習環境向上のため、校舎と機能連携が少ない倉庫等の機能を敷地東側に別棟として配置する案も検討しています。

ご意見 ■ 新校舎の配置を既存校舎の配置から変更すると、音による問題等が発生する可能性があるため、周囲への影響を考えた上で検討して頂きたいです。

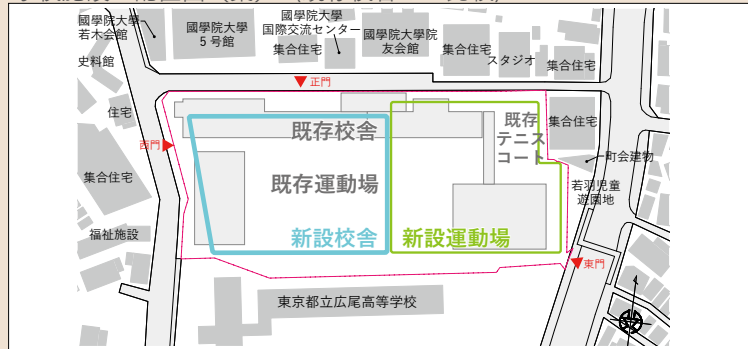
Q 新校舎の運動場は人工芝になるのでしょうか？

A 人工芝、天然芝、土などそれぞれ特性があるので、中学生の運動量も考慮し、学校側の声も聞いたうえで検討していきます。

学校施設の配置図（案）〈東側別棟を含めた検討〉



学校施設の配置図（案）〈既存校舎との比較〉



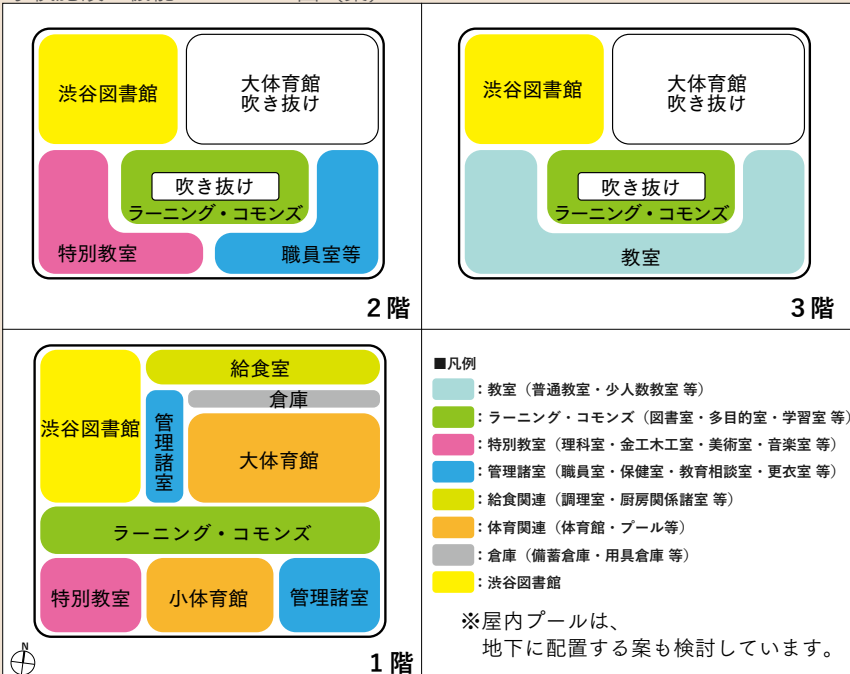
④ 学校施設の機能ゾーニング（案）について / ⑤ 諸室比較表について

新校舎に必要な機能のゾーニングについての検討状況を図を用いて説明しました。また、新校舎に計画する諸室の案を、既存校舎にある諸室と比較して提示しました。

新校舎の中心にはラーニング・commonsを配置し、ラーニング・commonsに面して教室や特別教室を配置する考えを説明しました。学年合同での学習から、グループ学習や一人で集中する学習まで幅広く対応できるような空間を目指して検討しています。

新校舎に配置する部屋は、教育上必要な機能を過不足なく設け、使用頻度の少ない場合は、他の部屋と兼用することで稼働率を上げることも検討しています。

学校施設の機能ゾーニング図（案）



Q 新校舎には部室は配置される予定でしょうか？

A 部室として部屋を設けるか、既存の通り部活動用の倉庫を設けるかは、今後学校と検討していきます。

ご意見

- PTA室は、個人情報の取扱い等もあるので、個別の部屋を設けて頂きたいです。
- 新校舎ができて入学希望者が増加した際に、十分に受け入れることができるよう、教室数を含め、拡張性のある学校にしたいです。